

食料・農業・農村政策審議会企画部会（第 116 回）への意見

田島 健一

食料・農業・農村基本計画 骨子（案）をまとめるまで大変な作業をなされたであろう農林水産省の担当の皆様に対し、その御苦勞をねぎらうとともに、感謝申し上げます。また、私が本部会で申し上げた中山間地域直接支払制度におけるネットワーク化に対する柔軟な支援については、集落協定だけではなく、自治会など多様な組織の連携についても支援の対象とされ、さらに、集落機能加算の経過措置を講じていただいたことについても、重ねて感謝申し上げます。

基本計画 骨子（案）の内容を拝見しましたが、私がこれまで申しあげてきました、農地の大区画化・集約化、農業水利施設の戦略的な保全管理、農山漁村の魅力発信と国民の理解醸成などが盛り込まれており、是非、力を入れて取り組んでいただきたいと思います。

一方、基本計画 骨子（案）で少し気になった点や確認したい点について、本日の企画部会でも御議論されるかもしれませんが、以下に意見を記載させていただきます。

- ・ 1 ページ、土地利用型作物の米に関する記載で「新たな需要への供給力強化等を図る」とありますが、米の不足感や値上がり、民間輸入されている実態など踏まえて、今ある需要への対応についても記載する必要はないでしょうか。
- ・ 17 ページ「地域計画の取組をプッシュ型で支援する」とありますが、どのような支援か、もう少し具体的な記載を検討いただけないでしょうか。
- ・ 18 ページ、農業水利施設の戦略的な保全管理で「計画（水土里ビジョン）を策定する仕組みを設ける」とありますが、計画を策定した後の取組をどう後押ししていくかが重要と考えますので、そのことについての記載も検討いただけないでしょうか。
- ・ 35 ページ「合理的な費用が考慮される仕組みの構築等」については、各産地が示すことになるコスト指標により、産地間競争を激化させる安値競争を誘発するようなことにならない仕組みにしていきたいと思いますと考えます。